

令和2(2020)年度  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

事業報告及び決算書

公益財団法人 倉敷考古館

## 倉敷考古館 令和2年度事業報告

### 1 遺物の蒐集及び展観（定款 第四条の1）

#### 1) 常設展

- ・新型コロナウイルス蔓延のため令和2年4月11日（土）～5月31日（日）まで52日間臨時休館を行った。
- ・デジタルキャプション QRcom システムの試作品作成。（倉敷芸科大学）
- ・説明キャプションの英語・中国語翻訳（就実大学）
- ・団体見学の受け入れ 4件

#### 2) 特別展（岡山大学、倉敷市） 1件

#### 3) 企画展 2件

#### 4) 考古資料、関連画像の貸し借り

- ・画像資料の貸出 2件
- ・資料の貸出 1件

### 2 遺物の保管並びに保管の受託（定款 第四条の2）

- 1) 調査希望の多い資料から報告書との照らし合わせ整理を行った。
- 2) 寄贈された関連図書の入力整理を行った。

### 3. 遺跡・遺物の調査及び研究

- 1) 大学、公設機関、博物館などの研究者や学生からの考古資料熟覧に対応した。11件
- 2) 岡山理科大学に資料の貸出を行い、調査研究を実施中（福井洞窟遺跡） 1件

### 4. 考古学に関する印刷物の刊行（定款 第四条の4）

- 1) 特別展「二万大塚古墳の世界」の解説リーフレット作成

### 5. 考古学に関する集会、講演会（定款 第四条の5）

- 1) 「継体期の変革と二万大塚古墳」6月14日（日）清家章 教授 中止
- 2) 「二万大塚古墳の発掘調査」7月12日（日）新納泉 特任教授 中止
- 3) 個別ワークショップ 缶バッジづくり 随時実施

### 6. その他必要な事業

- 1) 博物館実習生の受け入れを行った。
- 2) 倉敷市との連携事業として日本遺産推進室と共同で日本遺産関連のグッズを作成

7. 入館者の状況

年間 開館日数 226 日  
 同 休館日数 139 日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/11～5/31まで休館

年間 入館者総数 1,599 名  
 一日平均の入館者数 7 名

(1) 月別の入館者数

月別	令和2年度	平成31(令和1)年度	平成30年度
4月	16	199	711
5月	0	425	242
6月	74	205	243
7月	286	177	101
8月	192	481	824
9月	140	278	226
10月	174	335	420
11月	225	381	419
12月	113	119	81
1月	91	227	182
2月	137	350	107
3月	151	106	204
合計	1,599	3,283	3,760

(2) 入館者種別の人数と入館料

種類別	入館料 (円)	人数	金額 (円)
一般	500	830	415,000
〃 団体	400	193	77,200
小計		1,023	492,200
大学・高校生	400	103	41,200
〃 団体	320	6	1,920
小計		109	43,120
中学・小学生	300	79	23,700
〃 団体	240	89	21,360
小計		168	45,060
いきいきパスポート	150	13	1,950
JTB電子クーポン	400	17	6,800
GoToトラベル事業		30	16,000
学校メンバーズ制度	年会費制	6校	297,500
学校メンバーズ入館者		39	-
招待券等無料入館者	-	54	-
考古館民藝館共通券	1200	61 (考古館分)	25,200
JRぐるりんパス	-	85	-
合計		1,599	927,830

展覧会名	入館者総数	期間
岡大考古館学術連携協定記念展示会 『二万大塚の世界-真備、下道の大豪族-』	391	6/6～8/2
写真パネル展 『キノヤマサマとオオカミたち』	665 (無料スペース)	10/1～R3. 1/31
倉敷民藝館との連携展 『久遠の祈り』	555	11/18～R3. 4/18

JR岡山・倉敷ぐるりんパス (令和2年1月分から令和2年12月分まで)

	JRの販売枚数	金額 (円)
大人	804枚	94,068
小人	15枚	810
合計	819枚	94,878

## 8. 刊行物等販売状況

種別	数量	金額 (円)
解説	47	14,100
リーチ展図録	3	600
河井寛次郎展図録	3	600
絵ハガキ	67	2,270
絵ハガキセット	6	900
研究集報1号～13号	28	43,000
拓本 大・小	15	2,200
A4クリアファイル	8	800
チケットケース	11	1,100
一筆箋	4	800
合計		66,370

## 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
入館料	1,022,708	1,716,600	△ 693,892
刊行物等収入	66,370	114,572	△ 48,202
手数料収入	162,800	272,400	△ 109,600
寄付金収入			
受取寄付金	4,518,130	9,295,010	△ 4,776,880
補助金収入			
受取補助金	2,487,295	622,880	1,864,415
雑収益			
受取利息	21	13	8
資料貸与料	869,000	4,843,500	△ 3,974,500
雑収入	1,382,700	0	1,382,700
経常収益計	10,509,024	16,864,975	△ 6,355,951
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,297,120	7,623,808	△ 3,326,688
福利厚生費	843,558	1,130,247	△ 286,689
人件費	529,975	0	529,975
旅費交通費	0	1,072	△ 1,072
通信運搬費	74,960	76,333	△ 1,373
什器備品費	0	0	0
修繕費	672,100	0	672,100
貸借料	0	2,092,800	△ 2,092,800
警備費	396,000	475,364	△ 79,364
印刷製本費	0	362,363	△ 362,363
諸謝金	0	0	0
調査整理費	0	0	0
リース料	678,262	689,334	△ 11,072
減価償却費	47,178	47,178	0
クラスター事業費	8,180	124,778	△ 116,598
業務委託費	1,382,700	0	1,382,700
雑費	217,892	158,829	59,063
管理費			
給料手当	1,074,280	1,905,952	△ 831,672
福利厚生費	210,890	282,562	△ 71,672
人件費	132,494	0	132,494
旅費交通費	0	268	△ 268
通信運搬費	18,740	19,083	△ 343
消耗品費	101,142	135,428	△ 34,286
光熱水料費	220,857	244,679	△ 23,822
貸借料	0	523,200	△ 523,200
リース料	169,566	172,334	△ 2,768
保険料	73,520	65,480	8,040
図書新聞代	0	0	0
雑費	54,473	39,707	14,766
経常費用計	11,203,887	16,170,799	△ 4,966,912
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 694,863	694,176	△ 1,389,039
所蔵品評価損益	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 694,863	694,176	△ 1,389,039
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 694,863	694,176	△ 1,389,039
一般正味財産期首残高	19,364,649	18,670,473	694,176
一般正味財産期末残高	18,669,786	19,364,649	△ 694,863
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	18,669,786	19,364,649	△ 694,863





# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位 円)

科目	前年度決算額	決算	差額	備考
<b>I. 資産の部</b>				
1. 流動資産				
普通預金	790,347	2,166,192	1,375,845	
定期預金	0	0	0	
流動資産合計	790,347	2,166,192	1,375,845	
2. 固定資産				
基本財産				
土地	4,052,000	4,052,000	0	
建物	2	2	0	
所蔵品	93,765	93,765	0	
特定資産				
所蔵品	13,258,000	13,258,000	0	
修繕引当預金	694,176	22,076	▲ 672,100	
その他の固定資産				
備品	44	44	0	
建物付属設備	507,585	460,407	▲ 47,178	
固定資産合計	18,605,572	17,886,294	▲ 719,278	
資産合計	19,395,919	20,052,486	656,567	
<b>II. 負債の部</b>				
1. 流動負債				
預り金	31,270	0	▲ 31,270	
未払金	0	1,382,700	1,382,700	
流動負債合計	31,270	1,382,700	1,351,430	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	31,270	1,382,700	1,351,430	
<b>III. 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	19,364,649	18,669,786	▲ 694,863	
(うち基本財産への充当額)	(4,145,767)	(4,145,767)	0	
(うち特定資産への充当額)	(13,952,176)	(13,280,076)	(672,100)	
正味財産合計	19,364,649	18,669,786	▲ 694,863	
負債及び正味財産合計	19,395,919	20,052,486	656,567	



# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金としている。	187,180
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金としている。	1,951,804
		ゆうちょ銀行 振替口座	運転資金としている。	27,208
流動資産合計				2,166,192
(固定資産) 基本財産	土地	119.08㎡ 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。	4,052,000
	建物	164.13㎡ 鉄筋3階建 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。	1
		26.17㎡ 倉庫など 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。	1
特定資産	所蔵品	縄文土器など84点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している 不可欠特定財産である。	93,765
	所蔵品	銅剣など 2,007点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。	13,258,000
	修繕引当預金	表扉、階段などの修繕	公益目的事業の積立金であり、施設の修繕に充てる為に管理している。	22,076
その他の 固定資産	備品	展示ケースなど44個	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。	44
	建物付属設備	倉敷市中央一丁目3-13 建物の電気設備工事	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。	460,407
固定資産合計				17,886,294
資産合計				20,052,486
(流動負債)	未払金	業務委託費	業務委託費の未払金である。	1,382,700
流動負債合計				1,382,700
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				1,382,700
正味財産				18,669,786

## 公益目的保有財産の明細

財産種類別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の公益目的保有財産	使用事業
所蔵品	考古学資料84点 縄文時代資料65点 弥生時代資料5点 古墳時代資料12点 江戸時代資料1点 中国考古資料1点			公益目的事業
合計	93,765			

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし。
- (2) 固定資産の減価償却について  
法人税法に定める定率法又は旧定率法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
期末要支給額により計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
当課税期間は免税事業者である。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	4,052,000	0	0	4,052,000
建物	2	0	0	2
所蔵品	93,765	0	0	93,765
小計	4,145,767	0	0	4,145,767
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	0	13,258,000
修繕引当預金	694,176	0	672,100	22,076
小計	13,952,176	0	672,100	13,280,076
合 計	18,097,943	0	672,100	17,425,843

### 3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土地	4,052,000	0	4,052,000	0
建物	2	0	2	0
所蔵品	93,765	0	93,765	0
小計	4,145,767	0	4,145,767	0
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	13,258,000	0
修繕引当預金	22,076	0	22,076	0
小計	13,280,076	0	13,280,076	0
合 計	17,425,843	0	17,425,843	0

### 4. 担保資産の有無について

該当無し。

### 5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、当期末残高について

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,404,000	2,403,998	2
備品	1,199,375	1,199,331	44
建物付属設備	704,160	243,753	460,407
合 計	4,307,535	3,847,082	460,453

### 6. 保証債務

該当無し。

### 7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

8.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成31年度地域の美術館・歴史博物館クラスター形成支援事業	文化庁	0	64,745	64,745	0	
持続化給付金	経済産業省	0	2,000,000	2,000,000	0	
雇用調整助成金	厚生労働省	0	308,550	308,550	0	
倉敷市事業継続支援金	倉敷市	0	100,000	100,000	0	
令和2年度NEXTコロナ対策文化施設支援事業費補助金	岡山県	0	14,000	14,000	0	
合 計		0	2,487,295	2,487,295	0	

9.その他

財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。